将来の夢、目標に努力

玉野高入学式 142人新生活へ第一歩

玉野高で8日、市内の高校のトップを切って入学式があった。真新しい制服を着た新入生142人が、新生活の第一歩を踏み出した。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、来賓、在校生が出席せずに実施。会場の体育館は窓と出入り口を開けて換気し、座席も十分に間隔を取るなど感染防止策を徹底した。

恒例の吹奏楽部による歓迎演奏はなく、新入生は静かに入場。多田一也校長が「皆さんは3年後に有権者として責任を果たさないといけない。学習や部活動、ボランティアから多くのことを学び、人との出会いや関わりを大切にしてほしい」と式辞を述べ、ウイルス対策の自己管理も呼び掛けた。

新入生代表の河原京子さん(15)は「勉学や部活動に励み、自分たちの将来の夢や目標に向かって努力する。新しい仲間と助け合いながら、高校生活でさまざまなことに挑戦し成長していくことを誓う」と宣言した。

校歌の紹介では音楽を選択している生徒の歌と、吹奏楽部による演奏の録音を流した。式後は、生徒会執行部8人との対面式があった。

9日から通常通り授業があるが、部活動は自粛する。光南、玉野商工、備南高は9日に入学式を行う。

（内田貴大）

新入生を代表して決意を述べる河原さん

（C）山陽新聞社　無断複製・転載を禁じます。